

サーモグラフィーシステム **サーもん1000**

リアルタイム顔認証により歩行中多人数の体温も個別に監視！

システム構成

サーもん100共通
 管理パソコン
 ICカードリーダー
 環境センサー
 標準温度装置
 IoTゲートウェイ
 GPS LTE アンテナ



サーモグラフィー
カメラ



モニタ画面
通常映像とサーモグラフィー映像



多人数計測中の画面

■概要

上位システムは、歩行中の多人数も顔検出で個人別の体温をリアルタイムに監視可能です。個人の顔検出により顔領域の最高温度を計測するため、マスクをしていても問題なく、手に熱い飲み物を持っていても誤判定がありません。

既定温度を超える体温が検出されアラーム発生（表示および音）した人物は日時と顔映像が記録され、係員による追跡調査も可能です。それにより、高体温の人物を特定して未然にクラスター発生を防ぐことが可能になります。

■特長

- ・基本的に0.3秒で計測でき、1画面内に35人まで対応できます。
- ・カメラ前の人物映像から最高の温度位置を検索し、リアルタイムに体温を表示します。
- ・計測時、ICカードリーダーの併用も可能です。
- ・既定温度を超えると、アラーム表示やアラーム音発生も設定可能です。
- ・計測結果は、日時と共にグラフ表示や管理レポートも出力できます。
- ・感染に影響の大きい環境情報（温度・湿度・大気圧）も連続計測します。
- ・設置場所の計測状況に応じて、管理者の携帯電話等にリアルタイム状況通知も可能です。
- ・標準温度装置を用いた温度校正機能により、精度を向上しています。

IoTゲートウェイに対応

長年の実績を持つIoTゲートウェイ Bishop (株式会社アルファ製)を採用し、主にGPS/GLONASS 位置情報機能・LTE/3G 通信機能・環境センサー機能を効果的に活用いたします。

環境センサーによる体表面温度判定精度の向上

サーモグラフィーカメラが計測するのは体表面温度です。体表面温度は環境の温度によって変化し実際の体温より若干低くなります(出典 入来正躬著 体温生理学 テキスト)。そのため、環境センサーで気温を計測することで体温計測精度を向上しています。

ベイズ推定とディープラーニングの考え方による発熱判定精度を向上しています。屋外など環境条件の変動する場所においても、発熱特異点の検出ロジックを強化し判定精度を向上しています。

クラウド対応で地理的ビッグデータ構築

クラウドサーバにより、各地の計測状況を一括して時系列統合管理できます。発熱者の顔情報も集約可能です。



クラウド連携により、位置情報からの
各地ビッグデータ集約

お問い合わせ先

開発元 株式会社ユニバーサルコンピュータ研究所

URL: <http://www.ucl.co.jp/>

URL: <http://thermonn.jp/>(サーもん専用サイト)

Mail: thermonn@ucl.co.jp